

第 65 回数理社会学会大会 (JAMS65) プログラム (大会前確定版)

(このプログラムは今後、変更される可能性がありますのでご注意ください)

日時：2018年3月14日(水)～3月15日(木)

会場：成蹊大学 吉祥寺キャンパス

大会委員長：渡邊大輔 (成蹊大学)

1 参加費，懇親会費 (セミナーの参加は無料)

大会参加費	一般 (会員)	4,000 円	学生・院生 (会員)	2,000 円
	一般 (非会員)	5,000 円	学生・院生 (非会員)	2,500 円
懇親会費	一般	6,000 円	学生・院生	2,000 円

2 主なスケジュール

	時間	6号館3階301	6号館4階401	その他
3月13日	15:00～17:00			セミナー (6号館3階301)
3月14日	9:25～10:40	第1部会	第2部会	
	10:55～11:45	第3部会	第4部会	
	11:45～12:40			昼食休憩
	12:40～13:55			萌芽的セッション第1部 (6号館3階と4階の廊下)
	14:05～15:30	シンポジウム①		
	15:45～17:10	シンポジウム②		
	17:20～18:20	総会		
	18:30～20:10			懇親会 (6号館地下1階カフェテリア)
3月15日	09:00～10:15			萌芽的セッション第2部 (6号館3階と4階の廊下)
	10:25～11:40	第5部会	第6部会	
	11:50～13:05	第7部会	第8部会	

3 主な会場 (6号館3階301および4階401)

- ・受付：6号館3階
- ・会員控室・抜き刷り交換コーナー：6号館4階ラウンジ

4 口頭報告者へのお願い (自由報告)

- ・部会開始5分前に集合して、司会者と打ち合わせをしてください。報告15分，討論10分です。
- ・会場設置パソコンを利用できます (Windows10, Office2016)。持参パソコンの場合，HDMI または VGA ケーブル接続の Windows ノートパソコンが使用可能です (ケーブルは会場で用意します)。いずれの場合も持参の機器は，開場前に必ず接続テストをお願いします。
- ・ファイルは当日持参してください (USB メモリ利用可)。
- ・配布資料は，報告直前に配布してください。残部は持ち帰るか，抜き刷りコーナーに置いてください。
- ・(司会者の方々へ) 部会開始5分前に集合ください。報告12分で1鈴，15分2鈴，25分3鈴を鳴らします。

5 ポスター報告者へのお願い (萌芽的セッション報告)

- ・1日目のポスターは来場後なるべく速やかに貼りつけていただき，懇親会の開始時間までには取り外しください

- い. この時点で残っていたポスターはこちらで撤去します.
- 2日目のポスターは当日の9時30分までに貼りつけていただき、後ほど取り外してください（閉会後でも結構です）。閉会后10分経っても残っていたポスターはこちらで撤去します。
 - 最大でA0（縦1189×横841mm）のスペースが利用可能。報告ごとにポスター位置が指定されています。
 - ポスターの貼りつけには画鋏あるいはセロハンテープ（いずれも開催校が用意）が使用可能です。
 - 部会開始5分前に集合してください。

6 問い合わせ先

研究事務局 〒108-8345 東京都港区三田 2-15-45

慶應義塾大学法学部 竹ノ下弘久

E-mail : jams.research[at]gmail.com, Tel:03-5427-1097

大会事務局 〒180-8633 東京都武蔵野市吉祥寺北町 3-3-1

成蹊大学吉祥寺キャンパス 渡邊大輔（大会委員長）

E-mail : jams.meeting65[at]gmail.com, Tel : 0422-37-3666（研究室直通）

3月13日(火)

- 13:00~15:00 編集委員会 (6号館6階602B)
- 13:00~15:00 研究活動委員会 (6号館6階602A)
- 15:00~17:00 ワンステップアップ・セミナー (6号館3階301)
- 17:15~20:00 理事会 (6号館6階603)

3月14日(水)

9:00 開場・受付 6号館3階

9:20 開会挨拶 大会委員長 渡邊大輔 (成蹊大学) 6号館3階301

9:25~10:40 自由報告 I

【第1部会】教育 6号館3階301
 司会 荒牧草平 (日本女子大学)

1	高等教育の質的格差の構造と変容 —SSMデータを用いた進学機会分断線の検討—	濱本真一 (立教大学)
2	初職・管理職移行に対する学歴効果の趨勢分析 —1995年-2015年SSM調査データを用いた分析—	豊永耕平 (東京大学大学院)
3	大学生の就職活動における内定取得時期に対する ソーシャルスキルの効果	塩谷芳也 (京都産業大学)

【第2部会】ゲーム理論 6号館4階401
 司会 浜田 宏 (東北大学)

1	塹壕戦での協調関係はどのようにして成立したか —繰り返しゲーム状況の反ゲーム論的分析—	盛山和夫 (東京大学)
2	様子見可能な繰り返し囚人のジレンマにおける進化的安定戦略	○田口拓哉 (芝浦工業大学) 武藤正義 (芝浦工業大学)
3	未婚化研究における結婚相手人口の無統制という問題 —ベッカー結婚市場理論にもとづく「両性結婚指標」の提案—	神山英紀 (帝京大学)

****休憩 (15分) ****

10:55~11:45 自由報告 II

【第3部会】ジェンダーと職業 6号館3階301
 司会 吉田 崇 (静岡大学)

1	産業構造の変化からみる日本の性別職域分離の趨勢 国勢調査集計データを用いた計量分析	○打越文弥 (東京大学大学院) 麦山亮太 (東京大学大学院)
2	職業における男女共同参画はどのように推移するのか —理容師と美容師を事例とした歴史分析, 1910~2010年—	○森田厚 (成蹊大学大学院) 小林盾 (成蹊大学)

1	社会階層と消費行動 —文化的再生産の視点から—	高村謙介（同志社大学大学院）
2	有子既婚者の友人グループ参加の規定要因 —男女別多項ロジスティック回帰分析による検討—	○塚常健太（KDDI 総合研究所） 大戸朋子（KDDI 総合研究所）

****昼食休憩（55分）****

12:40～13:55 萌芽的セッション（ポスター報告）I 6号館3階と4階の廊下

1	クラウドファンディングにおける支援を誘発させるインフルエンサーの実証研究	○雨宮俊貴（芝浦工業大学大学院） 中井豊（芝浦工業大学）
2	ヴァルネラビリティ分析による階層ハザードマップの作成に向けて	石田淳（大阪経済大学）
3	保有資産の格差が所得貧困の動態に与える影響の分析	伊藤貴史（東北大学大学院）
4	「ライフスタイルと価値観に関する国際比較調査」を用いた幸福感と幸福観の日韓比較	稲垣佑典（統計数理研究所）
5	純粋ナッシュ均衡による対称2人ゲーム分類と存在確率	○江木悠（芝浦工業大学） 武藤正義（芝浦工業大学）
6	Predicting Survey Nonresponse in Computer-Assisted Personal Interviewing	大久保将貴（大阪大学大学院）
7	勤務時間に着目した雇用形態の成り立ちに関するゲーム理論的考察	○小川倫（構造計画研究所） 大西圭介（構造計画研究所） 本田亘一郎（構造計画研究所） 渡辺理子（構造計画研究所） 吉岡拓真（構造計画研究所） 権田夏月（構造計画研究所）
8	企業行動に関する社会学的調査における回収バイアスとその対処	金光 淳（京都産業大学）
9	スティグマとパッシングのゲーム理論的定式化をめざして	木村邦博（東北大学）
10	最適マッチング分析による女性の職業キャリアの記述と応用	黒川すみれ（お茶の水女子大学大学院）
11	21世紀の文化評価 —48活動の文化威信スコアを測定する—	小林盾（成蹊大学）
12	ナショナリズムの諸形態	齋藤僚介（大阪大学大学院）
13	学歴・金融教育が金融リテラシーと金融行動に与える影響—金融リテラシー調査データを利用した分析—	○竹本亨（帝塚山大学） 鈴木明弘（山形大学） 高橋広雅（広島市立大学）

14	高校の学科選択における親の職業の影響 —条件付き多項ロジットモデルを用いた分析—	成澤雅寛（東京大学大学院）
15	嗜好品摂取が他者との関係性に与える影響の検討 —2016年嗜好品と社会関係資本に関する調査から—	橋爪裕人（公益財団法人たばこ総合研究センター）
16	歩行速度の異なる構成員からなる群衆の挙動について	○藤田旭洋（東京大学大学院） 柳澤大地（東京大学） 西成活裕（東京大学）
17	複数拠点滞在という生き方が合理的になる条件 —社会シミュレーションによる分析—	堀内史朗（阪南大学）
18	転職経験からみる階層生成過程—管理職獲得への影響に着目して	麦山亮太（東京大学大学院・日本学術振興会）
19	疑似科学の受容と権威主義的態度—政治と科学に関する意識調査（PIAS）の分析	山本耕平（京都大学）
20 E	Experimental study on the influence of panel-like obstacle on individual pedestrian	○Jia Xiaolu（東京大学大学院） 柳澤大地（東京大学） Claudio Feliciani（東京大学） 西成活裕（東京大学）
21	転職後の雇用形態に学歴が与える効果についての分析 —「就業構造基本調査」匿名データを用いて—	吉田航（東京大学大学院）

****休憩（10分）****

14:05～15:30 シンポジウム①：開催校企画シンポジウム

6号館3階301

「挑戦する分析社会学」

オーガナイザー・司会：小林盾（成蹊大学）・内藤準（成蹊大学）

登壇者とテーマ：

飯田高（東京大学）「理論研究へのインパクト」

永吉希久子（東北大学）「実証研究へのインパクト」

瀧川裕貴（東北大学）「方法論へのインパクト」

討論者：川端健嗣（成蹊大学）・打越文弥（東京大学）

*本シンポジウムは、JSPS 科研費 17K18587 「混合研究法による社会学方法論の新スタンダードの構築」（挑戦的研究（萌芽）、代表小林盾）との共催です。

****休憩（15分）****

15:45～17:10 シンポジウム②：研究活動委員会企画シンポジウム

6号館3階301

「計量歴史研究の成果と課題」

オーガナイザー：永吉希久子（東北大学）

司会：吉岡洋介（千葉大学）

登壇者：

相澤真一（中京大学） 「社会調査資料の復元と社会学的歴史分析の可能性：

東大社研「労働調査資料」の復元二次分析を通じて」

金澤悠介（立命館大学）「世代間社会移動と階層帰属意識：1955年SSM調査の分析から」

森直人（筑波大学） 「社会調査・個票データの計量分析・二次分析と歴史分析とのあいだ：

時代・出来事・調査資料」

17:20～18:20 総会

6号館3階301

****休憩・移動（10分）****

18:30～20:10 懇親会

6号館地下1階カフェテリア

9:00～10:15 萌芽的セッション(ポスター報告)Ⅱ

6号館3階と4階の廊下

1	2つのプロジェクトを介した開発者の関係がオープンソース・コミュニティの活性化に与える影響	○新井健太(芝浦工業大学大学院) 中井豊(芝浦工業大学)
2	社会科学分野における再現性ポリシーの概要と今後の課題	○打越文弥(東京大学大学院) 三輪哲(東京大学)
3	E. Goffman「ゲームの面白さ」と数理モデル	○小田中悠(慶應義塾大学大学院) 吉川侑輝(慶應義塾大学大学院)
4	相対的リスク回避仮説における「リスク」の測定と効果 —出身階級とリスク認識はいかなる関係性にあるのか—	川端健嗣(成蹊大学)
5	One-sided Preference Game with Reference-Informationによる人の意思決定メカニズムの解析	○川口りほ(東京大学) 柳澤大地(東京大学) 西成活裕(東京大学)
6	子どもの生活時間と家族の関連の実証研究 —母親の職業・就業に着目して—	胡中孟徳(東京大学大学院)
7	学校におけるいじめの実態の国際比較 —教育支出と教員の負担—	眞田英毅(東北大学大学院)
8	Webクローリングデータを用いた民泊とビジネスホテルの共存条件分析	○高橋宏暢(芝浦工業大学) 武藤正義(芝浦工業大学)
9	ネットワークと戦略の共進化に基づく内集団ひいきの発生	武居寛史(東京大学大学院)
10	管理職獲得にみる学歴間格差の生成メカニズム	○豊永耕平(東京大学大学院) 麦山亮太(東京大学大学院・ 日本学術振興会)
11	Qualitative Methods and African studies: Overcoming Extraneous Variance and Validity	中澤香世(早稲田大学)
12	学校内感染の抑制に対する閉鎖施策の効果	○成田洋平(筑波大学大学院) 秋山英三(筑波大学)
13	集団間競争による集団内権力の成立条件	武藤正義(芝浦工業大学)
14	高校階層構造に基づく学習行動の格差は持続するか —高卒パネルデータの分析から—	山口泰史(東京大学大学院・日本 学術振興会特別研究員 DC)
15	入職前後における仕事に対する期待価値観の変化についての考察 —パネルデータを用いて—	峯俊洸大(北海道大学大学院)
16	宗教性が文化活動に与える影響 —SSP2015調査データによる実証研究—	○横井桃子(南山宗教文化研究所) 川端亮(大阪大学)
17	親元同居率の趨勢	吉田俊文(慶應義塾大学大学院)
18	Twitterにおける政治分極化 —Bayesian Ideal Point Estimationによる測定—	呂沢宇(東北大学大学院)

****休憩（10分）****

10:25～11:40 自由報告 III

【第5部会】研究方法

6号館3階301

司会 大久保将貴（大阪大学）

1	階層移動の固定化と周辺化 —離散時間ロジット・二項ロジット応用への警鐘—	鹿又伸夫（慶應義塾大学）
2	どのような言葉が人を幸せにするのか—自由回答のテキスト・マイニング分析を用いた混合研究法アプローチ—	○小林盾（成蹊大学） カローラ・ホメリヒ（北海道大学）
3	APC 識別問題のシミュレーション —ランダム効果、リッジ回帰、ベイズ型コウホート・モデルを用いて—	松本雄大（大阪大学大学院）

【第6部会】数理と実証

6号館4階401

司会 中井 豊（芝浦工業大学）

1	Life-Is-like-a-Random-Walk Model of Class Identification	石田淳（大阪経済大学）
2	社会ネットワーク分析におけるエルミート隣接行列の提案 —無向グラフの隣接行列の対角化—	杉原桂太（南山大学）
3	Inquiry of the Influence of Jaywalkers on Traffic Flow: Integrated Study of Pedestrians and Cars on Road with traffic light	○李文龍（東京大学大学院） 柳澤大地（東京大学）

****休憩（10分）****

11:50～13:05 自由報告 IV

【第7部会】報酬格差と意識

6号館3階301

司会 織田輝哉（慶應義塾大学）

1	誰がどれだけ受け取るべきか —現代日本における報酬格差に関する意識の基礎的分析（1）—	○有田伸（東京大学） 永吉希久子（東北大学）
2	どのような格差を容認するのか —現代日本における報酬格差に関する意識の基礎的分析（2）—	○吉田崇（静岡大学） 多喜弘文（法政大学）
3	格差を容認するのは誰か —現代日本における報酬格差に関する意識の基礎的分析（3）—	○神林博史（東北学院大学） 竹ノ下弘久（慶應義塾大学） 永吉希久子（東北大学）

1	場所、出来事、社会的事実の数理モデル	落合仁司（同志社大学）
2	主意主義的社会理論と圏論—意味・規則・行為—	大山智徳（日本郵便）
3	複雑系社会変革理論の新展開—歴史的・地域的適用の比較—	○嶋田一郎（東北大学） 小山富男（東北大学）

13:05 閉会挨拶 大会委員長 渡邊大輔（成蹊大学）

6号館3階301

（備考）

- 印は登壇者を示します。E は英語による報告です。The E symbol stands for English presentations.
- 「抜き刷り交換コーナー」を設けます。論文、報告書、マニュアル、自作ソフトなどを置けます。事前に「交換用抜き刷り」と表記して大会事務局宛に送付できます。
- ワンステップアップ・セミナー参加（無料）には申し込みが必要です。詳細はセミナー案内をご覧ください。定員に余裕がある場合は当日参加受付もいたします。
- ベビーシッターを利用可能です。必要な方は **2月15日（木）までに研究事務局**（jams.research[at]gmail.com）にご連絡ください。
- 大学敷地内は、指定喫煙所を除いて全面禁煙となっております。ご理解ご協力を願いたします。
- 会場内での無線 LAN は、eduroam を準備予定です。

（変更履歴）

- 2018年2月1日 暫定版プログラム
- 2018年2月7日 暫定版プログラム v3 登壇者○等の修正
- 2018年2月11日 シンポジウム追記
- 2018年2月13日 萌芽セッション変更
- 2018年2月16日 司会確定